

農地法の許可申請受付〆切日は毎月10日です。

潮来農委だより

第85号

発行者 潮来市農業委員会
編集者 広報委員会
TEL 63-1111
内線 270・272



R6.10.31 イモ掘り ― 耕作放棄地解消事業 ―

潮来市農業委員会		農地利用最適化推進委員		農業委員	
		担当地区		担当地区	
鹿取 豊造	八代	谷田川 雅巳	潮来	石神 一徳	堀之内・茂木・清水・牛堀
薄井 登三男	香澄	堀越 豊志	津知	橋本 勇作	西町・七軒丁・大洲・大塚野・あやめ・日の出・潮来前
臼井 孝	大生原	小倉 栄寿	延方	榊原 秀明	津知
		宮本 孝一	新宮・古高・洲崎・下田・宮前	遠峰 喜久栄	島須(赤須)
		高品 二美代	十番・十四番	服部 吉益	水原・釜谷
		堀井 満	上戸・永山・島須(宿・古宿)	浅野 国彦	須賀・曲松・小泉・西・東
		鬼澤 淳一	前川	村山 真一	大生・大賀

謹賀新年

今年もよろしく
お願いいたします



◆ 主な内容 ◆

- ◇会長あいさつ、市長あいさつ……………P. 2 ◇農業委員会全体研修会 他……………P. 4
◇市長への意見書の提出 他……………P. 3



新春のごあいさつ

潮来市農業委員会

会長 松本 清隆

新年あけましておめでとうございます。旧年中は潮来市農業委員会の活動に多大なるご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

近年、気候変動による異常気象やコロナ禍後の社会情勢の変化、世界的な市場動向の影響など、農業を取り巻く環境はますます複雑化しております。

農業従事者の高齢化や担い手の減少及び耕作放棄地の増加、農畜産物の需要の落ち込みなど、農業経営者の自助努力だけでは困難な状況であり、構造改革をさらに進めていくことが求められています。

その他にも、イノシシによる農作物被害が深刻化しており、市内各地で目撃情報や捕獲事例が報告されています。

そのような状況の中、潮来市農業委員会では本年策定される「潮来市地域計画」の方向性を踏まえ、地域資源の有効活用と保全、耕作放棄地対策、後継者の育成などの取り組みを一層強化し地域全体で力を合わせ、持続可能な農業と豊かな農村景観を次世代へ繋ぐべく、新たな一步を踏み出す所存です。

なお、本年度も必須業務となりました担い手への農地集積・集約化、遊休農地の発生防止等の農地利用の最適化の活動を、関係機関と連携を取り強力に推進してまいります。

新たな年を迎え、潮来市農業委員会一丸となり、潮来市農業発展のためより一層精進してまいりますので、皆様方のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

結びとなりますが、皆様のご多幸とご健勝を心からご祈念申し上げ、新春のご挨拶とさせていただきます。



新年のごあいさつ

潮来市長

原 浩 道

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。平素より、市政運営ならびに農業政策につきましては、多大なるご理解ご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

さて、昨今農業を取り巻く環境は、世界的に食料需要が増加するなか、農業生産資材や肥料などの価格高騰を始め、気候変動による食糧生産、国際情勢の不安定化等から安定した食料輸入することが難しくなっており、食をめぐる情勢は大きく変化しております。また、国内農業に目を向けますと、少子高齢化による農業従事者の働き手・後継者不足、耕作放棄地の増加や地球温暖化による自然環境の変化といった大変厳しい課題に直面している状況です。

このような中、農業が持続的に成長を続けるためには、農業に携わる人が安定した収入を得て農業の担い手が増える環境づくり、効率化による農業生産の向上や省力化が必要不可欠であると認識しております。本市といたしましても、さらなる地域農業の活性化に向け、農業者の皆様と連携を図りながら、「元氣な農業」を育むことができる持続可能な農業振興の推進に加え、新規就農者をサポートするための包括的な体制構築を努めてまいりますので、引き続き皆さまには、より一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新しい年が皆さまにとりまして、実り多き素晴らしい一年となりますことを心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。

一 潮来市の農業振興に向けて

潮来市農地等利用最適化推進施策に関する意見書を提出

潮来市農業委員会は、令和6年9月20日、原浩道市長へ「令和7年度潮来市農地等利用最適化推進施策に関する意見書」を提出しました。



主な意見の項目は次のとおりです。

1. 米づくりに対する支援について

- (1) 取り組みやすい飼料用米、加工用米の推進等による生産調整の確実なる実施を検討してください。
- (2) 米の直接支払交付金制度の創設等、米価に対する価格補填等につき検討してください。
- (3) 潮来産米「一番星」の産地化を進めるために、更なる生産量の拡大、販売先の確保等に努められたい。

2. 担い手に対する支援について

- (1) 新規就農者等の育成・確保のため、各種支援につきまして検討してください。
- (2) 認定農業者等に対し、市単独で農業機械・施設の整備に対する補助事業等の拡充につきまして検討してください。
- (3) 小規模農家に対して、農業機械、施設の整備に対する支援を検討してください。
- (4) 認定農業者制度のメリット等の周知、認定後の経営支援の充実を図る等、新たな担い手の育成、確保に努められたい。

3. 担い手への農地集積・集約化に対する支援について

- (1) 農業経営基盤強化促進法の一部改正について、市内農業者に対し周知を図られたい。
- (2) 簡易な土地改良事業に対する支援を検討してください。

4. 遊休農地の解消に対する支援について

- (1) 遊休農地の有効利用について、農業委員会だけで検討しても限界がありますので、市、関係機関の支援について検討してください。
- (2) 担い手農家が遊休農地等を借り受けて耕作をする場合に、市単独の助成制度の創設等を検討してください。

5. 農地法第3条の下限面積廃止への対応について

農地取得の判断基準を明確にするよう国、県に対する働きかけして頂きたい。

6. 農業委員会の体制整備について

農地事務の正確性の確保、並びに農地利用適正化の効率的な推進を図るために、事務局体制の強化を図られたい。

◆全国農業新聞◆

全国農業新聞は、地域農業者の代表機関である農業委員会ネットワークが発行する週刊の農業総合専門紙です。

1週間の農政の動きや現場で役立つ栽培技術・流通の情報、魅力的な農家の取り組みなどを幅広く伝え、担い手の皆様の経営発展に役立つ新聞です。

ぜひ、全国農業新聞から「情報という肥料」を吸収しましょう。

発行日 / 月4回金曜日 購読料 / 月700円
お申し込みは、農業委員会へご連絡ください
(TEL: 0299-63-1111 内線 270・272)

農業者年金で安心して豊かな老後を!

農業者年金の3つのメリット

メリット1	メリット2	メリット3
女性に優しい	若年層には手厚い政策支援 (保険料補助)	税制面で大きな優遇
●奥様も単独で入れます ●女性農業者の長い老後をしっかりとサポートします ●女性農業者の老後の安心は自分で確保 ●家族経営協定で保険料の国庫補助も	●国民年金第1号被保険者等の農業者年金への加入要件に加え ●39歳までに加入 ●農業所得が900万円以下 ●認定農業者で青色申告等を満たせば受けられます	●支払った保険料は全額が社会保険料控除の対象となります

【お問い合わせ先】 潮来市農業委員会
(TEL: 0299-63-1111 内線 270・272)

農業委員会総会日程

農地法の許可申請等は、毎月次の日程で行われています。

締切日 毎月10日
農地農政相談日 随時
現地調査日 毎月17日
総会日 毎月25日

※土曜・日曜・祭日等と重なるときは、変更になります。

■議案審査の状況を公表します。

期間：令和6年7月～令和6年12月
農業委員会定例会における議案審査の件数は下記のとおりです。

審査項目	7月	8月	9月	10月	11月	12月
農地法第3条 (農地のままでの権利の移転)	2件			3件	1件	6件
農地法第4条 (自己転用)		2件			1件	
農地法第5条 (権利の移転を伴う転用)	6件	2件			10件	
利用権の設定 (農地中間管理事業も含む)	13件	16件	2件	7件	25件	32件
農地の現況確認証明		1件				
その他		1件	1件			1件

農業委員会全体研修会に参加して

農業委員 石 神 一 徳

10月7日～8日市農業委員会全体研修会が実施され、農業委員・農地利用最適化推進委員が参加しました。

高齢化が進む日本、就農者は今後10年でさらに半減する見通しです。

日本の農業が省力出来るように、農業機械の生産を行っている工場を見学してきました。クボタ筑波工場です。

トラクタ・エンジンを日々生産している工場ではトラクタの生産能力は年間約8～9万台で約8割が輸出向け、約2割が国内向けです。

各生産ラインについて説明します。

エンジンの組み立てでは機械加工・自動ロボット組み立て30台の多関節ロボットで200点の部品をクランケースに組付けエンジン組み立てし完成検査を経て、完成します。

次にトラクタの組み立て工程でプレス・溶接・塗装・機械加工・トランスミッション組み立て・本機組み立て・トラクタ完成検査を経て完成しお客様へ出荷します。

ロボット技術やICTなどを活用して環境負荷低減・超省力に取り組んでいる素晴らしい工場でした。

皆様方も、ぜひクボタ筑波工場へ見学に行かれてはどうでしょうか。

最後に研修視察に参加させていただき有難うございました。



イモ掘りを体験

— 耕作放棄地解消事業 —

10月27日に潮来小学校の1・2年生とあやめこども園の園児が大生地内の再生畑でイモ掘りを体験しました。イモ掘り体験学習も12年目に入りました。

5月31日に植えた4種類のサツマイモ（シルクスweet、紅はるか、すずほっくり、ひめあやか）の収穫を行うことができました。1年生とあやめこども園児ははじめてのイモ掘りで苦戦しながら、2年生は経験を活かし慣れた様子で、それぞれ楽しそうにイモを掘っていました。



編集後記

新年あけましておめでとうございます。

新しい年を迎え、今年もよい一年になるようにと願います。

私たち農業委員・推進委員は田畑の見回りや各相談などで地域農業が持続的な発展をしていくために活動を行っています。

農業委員会の業務を進める中には、難しい部分もございますが、地域の皆様にご協力いただいているおかげで活動できています。

今年は農業委員会改選の年であり、任期を終え委員の入れ替わりがあります。

委員も変わりますが、これからも、地域の皆様のため、農業委員、農地利用最適化推進委員一同、努力してまいりますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

広報委員 高品 二美代

◇広報委員会◇

委員長 高品 二美代
副委員長 石 神 一 徳
委員 遠 峰 喜久栄
委員 服 部 吉 益
委員 鬼 澤 淳 一